

世界で二例しかない「巡礼道※」の世界遺産

田辺市/サンティアゴ・デ・コンポステーラ市が観光交流協定を締結

平素はお世話になっております。

和歌山県田辺市は、去る4月16日に首都圏における初のプレス発表を行い、平成26年度の新事業として「価値創造プロジェクト」を立ち上げ、内外に広く「田辺市」を売り出していく活動を始動しました。

その第一歩として、和歌山県と田辺市からなる「日・西交流400周年・熊野古道世界遺産登録10周年記念和歌山県文化交流団」を結成し、同じ「巡礼道※」の世界遺産を持つスペイン国ガリシア州サンティアゴ・デ・コンポステーラ市を訪問。5月13日現地にて「観光交流協定」を締結致しましたのでご報告いたします。

今後、両市は、相互に共同して観光を始め、文化、産業などの交流を推進してまいります。

(※ 数百kmにも及ぶ巡礼の文化的景観を有する巡礼道は世界に二例だけです。)

2014年5月13日(現地時間12:00 日本時間19:00)

持続可能な観光地、巡礼文化の世界発信に向けて、両市長が観光交流協定書に調印
[サンティアゴ市役所 RED ROOM にて]



(右) サンティアゴ・デ・コンポステーラ市のアンヘル・クラス・フェルナンデス市長
(左) 田辺市の真砂充敏(まなご みつとし)市長

■真砂充敏市長コメント:

今回の協定締結を契機として、観光振興はもとより、世界遺産であるための環境整備や保全といった総合的な取組についても学ばせていただきたい。

■アンヘル・クラス・フェルナンデス市長コメント:

「巡礼道」という共通点を有する遠く世界の東と西に位置する両市が「絆」を結んだ本日は、とても大切な日である。今日がゴールではなく、一緒に手を取り合って巡礼文化を世界に発信し、両市の発展に努めてまいります。

本年は、日本スペイン交流400周年及び世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」が登録10周年を迎える記念すべき年であり、田辺市ではこのたびの観光交流協定を契機に、以下の取組を通して内外に向け更なる情報発信を行う予定です。

7月5日～6日 世界遺産登録10周年記念日事業

「日本人の心のふるさと“熊野”を後世へ～継承と保全、発信について考える～」

- ・熊野古道環境保全ウォーク(道普請ウォーク)
- ・世界遺産登録10周年記念式典

(世界遺産熊野本宮館名誉館長委嘱式(荒俣宏氏)、観光交流協定覚書調印式、記念講演)

9月25～28日 首都圏における観光交流事業(ツーリズム EXPO ジャパン)

首都圏で開催されるツーリズム EXPO ジャパンに共同出展し、両市の観光プロモーションを行います。

本件に関する問合せ

田辺市役所 企画部 たなべ営業室 担当: 大久保、鍋屋

TEL: 0739-33-7714 FAX: 0739-22-5310 E-mail: tanabe.eigyoku@city.tanabe.lg.jp

田辺+ 魅力はっけん委員会広報事務局(スリーシーズン内) 担当: 高田

TEL/FAX: 03-3716-2639

E-mail: info@mypressroom.net

「田辺市の概要」や「両市の関係」、「両市の持つ巡礼道の共通事項」等、詳細資料につきましては、
http://www.city.tanabe.lg.jp/tanabeeigyoku/press_release からご覧ください。